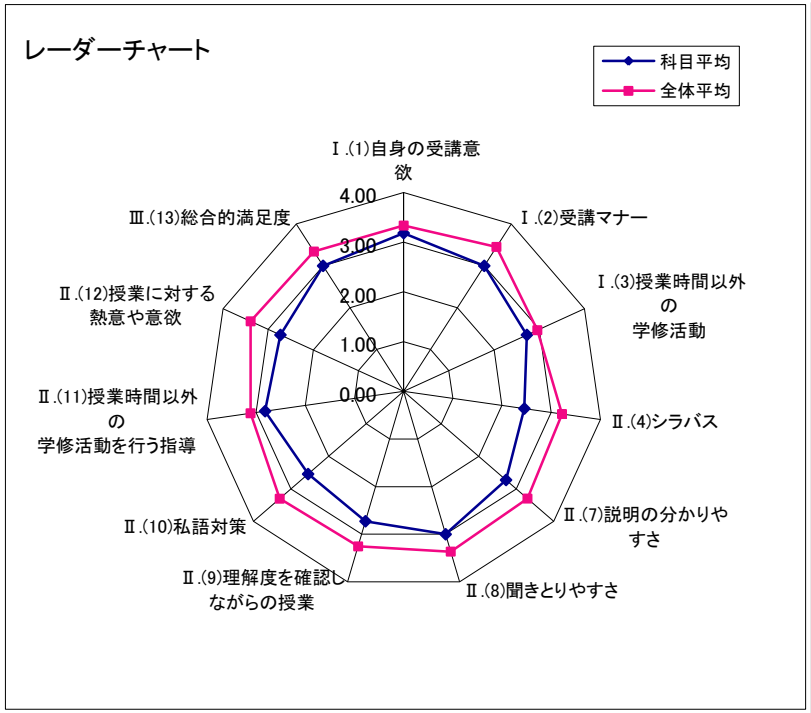
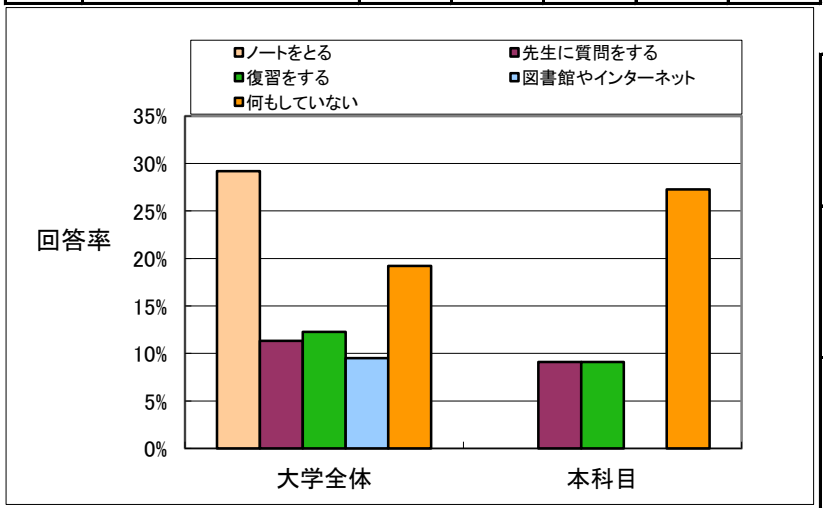
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.18	3.33
	Ⅰ.(2)	3.00	3.45
	Ⅰ.(3)	2.73	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.45	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	2.73	3.30
	Ⅱ.(8)	3.00	3.36
	Ⅱ.(9)	2.73	3.25
	Ⅱ.(10)	2.55	3.30
	Ⅱ.(11)	2.82	3.11
	Ⅱ.(12)	2.73	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.00	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	27.3%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	2.97	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	2.71	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.00	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	3266
科目名	映像制作Ⅱ／マルチメディア制作
教員名	

①授業計画の達成度について

映像表現を行う上での重要なコンセプトの立て方を解説し、絵コンテ作成、添削から、学生各々が得意な表現　Flashアニメーション、CGアニメーション、ストップモーションアニメーションから選択し制作を行った。ほぼ全員が作品を完成させた。アニメーションからサウンド制作とトータルで作品を仕上げられる内容で授業展開を行った。授業後半ではマスターした技術を活用し、学生は絵コンテを元にしたアニメーション制作を行った。アニメーションとともにサウンド制作を行いトータルで演出を行えるよう配慮した。

②授業の進め方について

学生は概ねアニメーション制作の考え方、技術、作品への応用し、その成果として、絵コンテをアニメーションへとしてを制作することができた。絵コンテに関しては個別にチェックと相談を行い、アニメーションに展開する際の留意点や、アニメショーン化が難しい表現の修正等のアドバイスを行った。アニメーション制作に関して技術の応用ついては、その都度質問がなされることを想定しており、教授した技術を作品制作へ応用する際のアドバイスを行った。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

受講学生はアニメーション制作の技術を習得し、オリジナルのアニメーションを完成させたが、達成感や満足感につながっていない。3、4年次の選択科目というこもあり、制作の為のノウハウ等は教授したが、主体的にクオリティーを上げる方向には導けなかったとアンケートから受け取れる。制作の際には個々の技術的質問に答える時間を多く割いており、技術的な問題も解決し、作品を完成できるよう配慮している。しかし、及第点を得られる最低限の制作をする学生が多かったことは否めない。今後は主体的に制作に取り組むよう制作過程に工夫を凝らしたいと考える。

奈良産業大学